

令和５年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市立洗馬児童館		
所在地	塩尻市大字洗馬２７１３番地１		
指定管理者名	社会福祉法人 塩尻市社会福祉協議会		
指定期間	令和５年４月１日 ～ 令和１０年３月３１日 （５年間のうち１年目）		
募集方法	公募	施設担当課	こども教育部 学校教育課

１ 業務実績（指定管理者）

当初計画	実 績
１ 児童館運営を行うに当たっての経営方針 児童を取り巻く現状を踏まえ、健全な遊びを提供し児童の健全育成を図る。また、児童の安心・安全な居場所づくりとなるよう努力する。 ・夏休みお楽しみゲーム大会 １回 ３５人 ・春休みお楽しみ会 １回 ３５人	・感染症予防に努めながら、行事等実施 ・夏休みお楽しみ会は、３年生が実行委員になり、計画・準備と当日の司会進行も行った。 （３１人参加） ・春休みお楽しみ会は、実行委員を募集し、学年にとらわれず、１０人が立候補し縦割りの友達と協力し合い準備を進め実施。 （４４人参加） ・仲間と触れ合う中でルールを守る大切さや、心と身体 の健康増進のためのあそびや生活の環境づくり 〈運動遊び〉 ドッジボール・キックベース・一輪車等 〈ゲーム〉 ボードゲーム・カードゲーム・ラストワン・マンカラ等 〈工作・手芸〉 段ボール工作・キラキラ・コースター・リリアン・マフラー・ビーズストラップ・アイロンビーズ等 〈自学〉 毎日３０分間
(１)健全な遊びの実施 ・児童の健康増進と創造性を育む取り組み お話会 １２回 ３６０人 ・季節感のある行事の実施と地域の自然や伝承を知る 取り組み 七夕会 １回 ４５人 クリスマス会 ２回 ６５人 ・施設内外の高齢者との世代間交流 ２回 １００人	・児童の健康増進と創造性を育む取り組み お話会 １２回 ３８１人 ・季節感のある行事の実施と地域の自然や伝承を知る 取り組み 七夕会 １回 ４２人 クリスマス会 ２回 １１０人 バイオリンとピアノによる「春待ちコンサート」３７名 ・施設内外の高齢者との世代間交流 ふれあいセンター洗馬の講座参加者に帽子的マグネット を作成しプレゼント １回 ５０個

(2)放課後児童クラブ事業等の実施 ・就労等の理由により、保護者が昼間家庭にいない小学1年生から6年生までの児童の安心・安全な居場所づくりと健全育成のための様々な取り組みの実施 ・全児童の居場所対策として、キッズクラブ事業の実施 5人 ・特性のある講座の実施（福祉教室） 2回 50人	・保護者との信頼関係を築きながら、安心して預けることができる児童館づくりに努めた。 相談業務 延べ35件 ・キッズクラブ登録児童 7人 ・小学生向けに、社協の特性を活かした福祉教室を実施し、平和に対する関心を深めたり、相手を思いやる気持ちの大切さを学んだ。 2回 50人 ・JA洗馬職員による食育教室 1回 34人
(3)保護者や地域への関わり ・保護者会組織支援と地域力活用の事業	・緊急事態発生時に備え、保護者に迅速な連絡や対応で、H&Sでの配信ができるようにした。
(4)危機管理、安全対策に関する取り組み ・交通安全教室、防犯指導等の実施 3回 100人 ・防犯・防災・地震対策のための避難訓練の実施 2回 80人	・避難訓練（4回 109人） 【内容】 洗馬駐在所署員による不審者対策及び交通安全指導 避難経路確認と災害時における安全な身の守り方
2 利用児童に対する配慮、サービス (1)児童の心身の状態を把握し、健康に留意しながら、安心・安全に利用ができるように配慮する。 ・利用者の心身状態の把握 ・虐待等の早期発見	・感染症予防のため、手洗いの励行、手指消毒、ドアノブ等手を触れる場所の消毒や換気に努めた。 ・子どもの心身状態に変化がある時は、速やかに保護者や学校に連絡し、適切に対応した。
(2)利用児童の満足度を高めるための取り組み ・発達期の子どもの成功体験や自己実現に配慮した取り組み ・利用者の家族や地域のニーズの把握 ・利用児童や保護者の声を聴く意見箱の設置 ・苦情や要望、意見への対応 ・児童館連絡会において、情報交換を行い、ニーズを共有する。 厚生員会 月1回 定例会 月1回 館長・厚生員職員会 週1回 パート職員を含めた職員会 月1回 ・保護者との信頼関係の構築	・生活や活動を通して、集団の中で異年齢の関わりを大切にし、共に成長できるように支援した。 ・興味や関心のあることを更に高められる自学に活用できる図書の購入等、環境づくりをした。 ・保護者向けにアンケートを実施し、いただいた要望や意見を検討し、児童館運営に生かした。 ・苦情には迅速に対応し、問題点は職員間で共有し、改善に努めた。 厚生員会 月1回 定例会 月1回 館長・厚生員職員会 週1回 パート職員を含めた職員会 月1回 ・子どもの様子を保護者の迎えの時に日々伝えることで、保護者が安心して子育てと仕事ができるように支援した。
(3)地域に密着した施設であるための取り組み ・地域に密着した子育て支援の拠点として地域住民に信頼される施設となるように努力する。 ・地域に定着した児童館として公民館主催行事への協力と参加 1回 20人	・ふれあいセンター洗馬まつりへの参加 まつりオープニングで 歌「虹」の発表 22人 ・つどいの広場 11回 47組96人 ・お元気食堂への参加 2回 11人 ・洗馬地区文化祭への作品展示 66人 ・例年実施されている公民館主催書初め会は、行われなかった。

(4) 世代間交流に関する事業内容 ・ふれあいセンター洗馬の講座受講者との交流。 2回 60人	・クレア洗馬の利用者との交流 1回 31人 ・ふれあいセンター洗馬講座受講者との交流 2回 51名
(5) 個人情報保護について ・本会の規定に基づく個人情報保護を徹底する。	・個人情報に関する書類は鍵のかかる場所での管理を徹底した。
3 関係機関との連携 (1) 学校との連携 ・小学校の先生方との情報共有 ・夏休み期間中学校長先生はじめ、担任の先生方の児童館訪問(一人1回) (2) 子どもに関わる施設や機関との連携 ・地域が子どもを育む機能に着眼した、地域全体で子育てや親支援ができる体制の構築 学校運営協議会・地域教育協議会・洗馬地区育成会	・児童クラブでの生活の流れや活動の様子について、情報交換ができた。 ・夏休み中の校長先生をはじめ担任の先生方の児童館訪問 15人 ・学年だよりと児童館だよりをその都度交換し、調整や連携を図ることができた。 ・児童館職員が児童への対応の相談に随時学校を訪問し、授業参観や校長先生、教頭先生、担任の先生と懇談を行った。 ・学校運営協議会(4回)、地域教育協議会(4回)、育成会(1回)に参加し、洗馬地区が目指す望ましい子どもの成長について情報交換することができた。 ・民生児童委員との情報共有を行った。

事業計画の内容、適格性及び実現性

当初計画	実績
(1) 利用者の増加を図るための具体的な手法及び期待される効果 ・魅力ある講座の実施	・市民タイムス、月刊誌イクジイへの掲載 【内容】 地区文化祭への児童工作作品展示 66人 ビーズストラップ製作、マフラー作り、段ボール工作等 つどいの広場イベント 11回 親子47組
(2) サービス向上を図るための具体的手法、効果 ・魅力ある講座の実施 ・ボランティアの受入れ 2回 5人 ・職員の職場外、職場内研修の参加	・西部中ボランティア委員会との直接の交流は実施できなかったが、委員会からプランターの鉢植えのプレゼントをいただいた。 普通救命研修(AED含む) 放課後支援員研修 (1人) 工作研修 (7回) 他児童館の見学研修 (5回)

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	285日	290日	293日	99.0%
施設利用者数 合計	8,000人	10,854人	8,226人	131.9%
児童館	150人	527人	204人	258.3%
児童クラブ	8,000人	10,231人	7,850人	130.3%
つどいの広場	20人	96人	172人	55.8%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の 評価・分析	新型コロナウイルス感染症が5類に移行した5月から、児童クラブ・児童館共に利用人数が増加し、活動も制限が緩和されたことから、活動内容も経験や交流を広げることが可能になった。
施設担当の 評価・分析	新型コロナウイルス感染症の5類移行に合わせてそれまで自粛していた活動を再開したことで、利用人数増加の様子が見られた。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

	項 目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料	12,973,000	13,023,350	12,744,075	102.2%
	・ 児童館利用料	1,062,000	886,200	762,750	116.2%
	・ 雑収入	1,000	47,666	2,596	1836.1%
	・ 拠点区分間繰入金収入	0	141,000	204,050	69.1%
	収入計 (A)	14,036,000	14,098,216	13,713,471	102.8%
支 出	・ 人件費	11,170,000	11,623,283	11,829,197	98.3%
	・ 保健衛生費	20,000	15,488	15,136	102.3%
	・ 水道光熱費	320,000	309,278	352,209	87.8%
	・ 燃料費	106,000	146,075	133,536	109.4%
	・ 消耗器具備品費	385,000	381,751	370,862	102.9%
	・ 保険料	47,000	41,460	36,000	115.2%
	・ 車両費	10,000	0	8,576	0.0%
	・ 諸謝金	139,000	32,000	16,000	200.0%
	・ 研修研究費	10,000	2,000	2,000	100.0%
	・ 修繕費	340,000	156,750	70,400	222.7%
	・ 通信運搬費	222,000	127,614	122,944	103.8%
	・ 会議費	0	2,000	1,000	200.0%
	・ 業務委託費	537,000	635,810	482,568	131.8%
	・ 手数料	24,000	73,819	75,204	98.2%
	・ 賃借料	172,000	176,239	168,058	104.9%
	・ 保守料	230,000	239,800	207,900	115.3%
	・ 雑支出(退職年金事務費)	16,000	2,520	63,494	4.0%
	・ 器具及び備品取得	0	141,000	204,050	69.1%
	・ 退職手当、年金共済掛け金	228,000	88,368	115,584	76.5%
	・ 事務経費	60,000	1,037,872	1,004,320	103.3%
	支出計 (B)	14,036,000	15,233,127	15,279,038	99.7%
	収支 (A) - (B)	0	△ 1,134,911	△ 1,565,567	

5 財務状況を示す指標(指定管理者)

指 標	当年度	前年度
自己資本比率 (資本/資産×100)	84.1%	84.1%
負債比率 ((流動負債+固定負債)/資本×100)	18.9%	18.9%
固定比率 (固定資産/資本×100)	92.8%	92.8%
流動比率 (流動資産/流動負債×100)	392.0%	562.5%
総資産経常比率 (経常利益/総資産×100)	1.2%	1.2%

6 職員の配置状況(指定管理者)

当初配置計画	配置実績
館長 1 (嘱託) 児童館職員 5 (準正規2, パート3)	館長 1 (嘱託) 児童館職員 7 (準正規1, 嘱託1, パート5)

7 自主事業の状況(指定管理者)

当初計画	実 績
ふれあいセンター洗馬祭りへの参加 30人	ふれあいセンター洗馬祭りへの参加 オープニングで歌「虹」の披露 22人

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

（1）実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	3	④	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
職員体制	7	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	8	スタッフのシフトは適正であるか（労働基準法を遵守しているか）	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
（1）評価点合計（16項目）			48					49				

（2）収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
（2）評価点合計（8項目）			24					24				

（3）サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	3	④	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	3	④	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	－	－	1	2	③	－	－
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	－	③	－	－	1	－	③	－	－
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
（3）評価点合計（16項目）			51					52				

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

（評価点の総計）

評価点総計 （満点164点）	指定管理者	123点	75.0%	施設担当課	125点	76.2%
-------------------	-------	------	-------	-------	------	-------

8（総括）評価に対する考え方（指定管理者、施設担当課）

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	2	民生児童委員や小学校、家庭支援課との連携を必要に応じて取り合い、保護者や子育て中の家庭に対する支援に努めている。	2	お楽しい会の企画・運営を児童中心に進めるなど子どもたちの主体性の育成を心がけている。
	4	ふれあいセンター洗馬との合同避難訓練や、洗馬派出所の署員による防犯訓練等児童館独自の訓練も実施し、安全を確保できている。	5	不審者対策、交通安全、防災対策等子どもたちに分かりやすい工夫をしながら実施している。
	7	活動の計画検討や児童の様子を共有しあう職員会は週1回行い、パート職員を含めての職員会は、ほぼ毎月1回設けるなど、児童の育成支援に努めている。	7	有資格者を3名、補助員を5名配置し、必要な職員体制を確保している。
(2) 収支等の評価	19	収支計画書に即し、予算の適正な執行に努めた。	19	燃料費等いくつかの項目で当初計画を上回ったが、適正な範囲と認められる。
	23	感染症や熱中症予防のため、換気をしながら暖房やエアコンを使用したため、光熱費の節約は難しい。	23	感染症、熱中症対策が求められる中で、精一杯の経費削減に努めている。
(3) サービス等の内容や水準	28	利用者からの意見や要望は、職員間で共有・検討し、速やかな対応をしてきた。	29	意見箱を置いたり、保護者からの相談に対して親身に応じたりする等、苦情や要望に対して丁寧に対応している。
	33	コロナ禍で数年間実施できなかったクレア洗馬やふれあいセンター洗馬の利用者との交流は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、実施することができた。	31	玄関に児童館、児童クラブ、放課後キッズクラブの利用案内を掲示する等わかりやすい工夫が行われている。
	35	業者による定期的な清掃や点検を行うことで、衛生的で安全な施設運営に努めている。	33	複合施設である利点を活かしてふれあいセンターとの交流を積極的に行ったり、学校、農協等近隣関係機関と連携したりする等、事業の充実が図られている。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	■自己評価
	・家庭と学校を繋ぐ場所として、児童クラブ・キッズクラブを利用する子どもたちが安心・安全に生活できる居場所になることを目指してきた。 ・保護者からの相談は、状況によって小学校と連携して対応したり、民生児童委員との懇談も行った。
	■今後の改善策（短期的に取り組むことで課題解決を図るもの）
	・社協の特性を活かし、子ども福祉教室や高齢者との交流など、思いやりある心を培うことのできる活動を続けていきたい。
	■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）
	・地域に根差した児童館として、未就園の子供を持つ家庭が求めている子育て支援についての情報を得て、ニーズに応える取り組みをしていく。
施設担当課	・社会福祉協議会や地域の特性を活かした事業を積極的に行っている。また、子どもたちの主体性や協調性を育むような行事を大切にしている。 ・今後も引き続き子どもたちの健全育成を目指した児童館の運営を進めていきたい。